書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人手話教師センター

2019 年末に発生した新型コロナウイルスについて、変異株が出現する等、予断を許さない状況ではあるが、ワクチン接種及び感染対策に留意しながら、日常を取り戻す努力が各国で続けられている。

手話教師センターは、定期的に開催する行事（定例会等）はすべてオンラインで実施することし、対面が必要な場合はコロナ感染状況をみながら実施することにした。

特記すべき事項として、令和 3 年度（2021 年度）は「ろう通訳」元年であったということであろう。2020 年に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが 2021 年夏に延期されたが、開会式及び閉会式のテレビ生中継にろう通訳者が登場し、大きな話題となった。画面には出なかったが、ろう通訳者に音声情報を送る聴通訳者（フィーダー）の活躍も忘れてはならない。このろう通訳者及び聴通訳者は、ろう通訳者及びフィーダー養成講座の講師及び修了生であった。

1　事業の成果

【育成】今年度の定例会はすべてオンラインで行なった。オンラインによるメリットを最大限に活かすため、開催数を例年の 4 回から 6 回に増やした。試行錯誤の結果、ZOOM のミーティングでなくウェビナーで実施した。（第 52 回～第 57 回）△日本手話ブラッシュアップ講座はすべてオンラインで行なった。また、開催数も年 4 回から 7 回に増やした。うち 1 回は手話言語学の基礎的知識を学ぶ講座として実施した。関東以外の講師を起用し、地域色を出すことができた。また、講師に対しメンターによるフィードバックを実施した。△ナチュラル・アプローチ手話教授法講座を 2 年ぶりに開講した。基本的にオンラインで実施したが、模擬授業は対面で行なった。△ステップアップ講座は応募者が少なく、中止となった。

【研修】集中研修会を前期・後期に分け、オンラインで実施した。ZOOM のブレイクアウトルーム機能を活用し、グループ分けを行なった。参加者は前期・後期あわせて 100 人であった。△第 21 回日本手話教育研究大会をオンラインで 2 月に開催した。参加者は 210 名であった。△手話教師育成研修会は、年度末の 3 月にオンラインで実施した。エンパワーメントチーム（アドバンス plus 以上及び理事）23 名が参加した。△自主研修会は 0 件であった。

【派遣】（株）アウトソーシングビジネスサービスダブルピーとは協力関係にあり、WP 手話寺子屋講師はすべて法人に登録している教師が担っている。△企業、民間団体などへの講師派遣、登録手話通訳者研修会への講師派遣等を行なった。コロナ感染状況により講座が一部休講となるケースもあった。
△個人レッスンについては、個人１件、大学教員２件である。

【開発】(株)アウトソーシングビジネスサービスダブルピーと契約中の DVD プロジェクトについては、

進行中のチームはいくつかあるが、DVD 発行には至らず、実績はゼロであった。△オンラインによる手話学習サイト「サインアイオー」の監修を行なった。

【翻訳】コミュニティ及び学術分野におけるろう通訳者・フィーダー養成事業（日本財団助成事業）は本年度で 2 年目を迎えた。オンラインで対応可能なものはオンラインで実施し、対面にした方がよいものは対面にする等、臨機応変に対応した。オンライン翻訳講座、通訳理論講座、ろう通訳者養成講座、フィーダー養成講座を開講することができた。△オンライン翻訳講座は、Google の学習支援ツールであるクラスルームを活用し、9 クラス（1 クラスにつき翻訳課題 6 本、講座 6 回）、すべてオンラインで行なった。△通訳理論講座はすべてオンライン、ろう通訳者養成及びフィーダー養成講座については、対面が必要な場面以外はほぼオンラインで行なった。ただ、昨年度（令和 2 年度）の当事業が 4 ヶ月延長となった関係で、ろう通訳者養成講座、フィーダー養成講座への応募者が少なく、結果的に各 2 名となった。△ろう通訳者養成講座、フィーダー養成講座の修了生を中心にした研修会において、医療、法律、コミュニティ、精神保健、翻訳に関する専門研修を行なった。各専門分野につき 5 回の研修を実施した。自発的な研修会は 13 回実施した。△通訳研修（通訳機会の確保）のための特別講演会を 2 回、実施した。通訳チームは会場に参集し、オンラインで配信する形をとった。△通訳 OJT プログラムとして、通訳 OJT を 10 件実施した。コロナのため激減した昨年より 9 件増えた。（OJT によらないが、手話教師センターが斡旋し、東京オリパラのテレビ生中継に通訳を付与した。ろう通訳者と聴通訳者の協働によるものである。）△学術分野におけるろう通訳者・フィーダーの養成については、2022 年度の TISLR14 での通訳も視野に入れ、学術分野における専門研修を行なった。オンラインという特性を生かし、海外の専門家に講師として担当していただいた。国際手話、手話言語学、英語等で、全 30 回実施した。

【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター等で広報、啓発を行なった。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【9,336】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
手話教師育成事業	定例会の開催	年 6 回	オンライン	15 名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 950 名	177
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年 7 回	オンライン	10 名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 460 名	843
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座の教師派遣	1 講座	オンライン	3 名	手話教師をめざすろう者	10 名	507

手話教師研修事業	集中研修会	前期 後期	オンライン	10名	手話教師	100名	288
	日本手話教育研究大会	年1回 2月	オンライン	15名	手話教師 手話学習者 手話通訳者	約 210名	732
	手話教師育成指導者研修会	年1回 3月	オンライン	2名	手話教師指導者	23名	0
	メンター派遣	通年	オンライン	2名	手話教師	30名	170
	手話教師自主研修会	通年	-	-名	手話教師	-名	-
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	市民 手話学習者 手話通訳者	約 3,000 人	3,476
手話教授法に関する教材開発事業	サインアイオーからの業務委託	通年	事務所	2名	手話学習者等	約 200人	666
翻訳・通訳に関する事業	手話通訳者の養成（ろう通訳・フィーダー等）	11月～5月	オンライン	4名	ろう者 手話通訳者	71名	8,713 (総額)
	ろう通訳者・フィーダーの研修	通年	東京 オンライン	3名		約　約 500名	-
	通訳OJTプログラム	通年	東京・愛知 オンライン	3名	ろうフィ 通訳利用者 市民	600名	-
ろう者特有の文化に関する啓発普及事業	ホームページ、SNSの運用	通年	事務所	3名	ろう者、聴者等、一般市民 正会員・賛助会員	約 100人	15

（2）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人手話教師センター

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1 受取会費		1,479,000
正会員受取会費	477,000	
賛助会員受取会費	1,002,000	
2 受取寄附金		939,832
受取寄附金	939,832	
施設等受入評価益		
3 受取助成金等		6,970,000
受取補助金		
受取助成金	6,970,000	
4 事業収益		9,387,013
手話教師育成事業収益	2,039,500	
手話教師研修事業収益	1,498,000	
手話教師派遣事業収益	3,440,204	
教材開発事業収益	666,206	
翻訳通訳教育事業収益	1,743,103	
普及啓発事業収益	0	
5 その他の収益		77,602
受取利息	135	
雑収入	77,467	
経常収益計		18,853,447
【B】経常費用		
1 事業費		
（1）人件費		
給料手当		
役員報酬		
（2）その他経費		15,826,258
会議費	332,150	
旅費交通費	754,055	
会場費	315,380	
研修費		
減価償却費		
諸謝金	13,647,726	
諸会費	14,550	
制作費		
通信運搬費	92,105	
消耗品費	10,379	
地代家賃	348,593	
地租公課		
支払手数料	188,001	
雑費	123,319	
事業費計		15,826,258
2 管理費		
（1）人件費		
役員報酬		
給料手当		
（2）その他経費		2,304,924
会議費	2,430	
旅費交通費	1,296,176	
会場費	381,725	
研修費		
減価償却費		
諸謝金	107,265	
諸会費	34,482	
制作費		
通信運搬費	80,745	
消耗品費	125,000	
地代家賃	15,719	
地租公課	14	
支払手数料	42,075	
雑費	219,293	
管理費計		2,304,924
経常費用計		18,131,182
当期経常増減額 【A】－【B】 ・・・①		722,265
【C】経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		
【D】経常外費用		0
固定資産売却損		
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		
当期経常外増減額 【C】－【D】 ・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+② ・・・③		722,265
法人税、住民税及び事業税 ・・・④		
前期繰越正味財産額 ・・・⑤		4,976,830
次期繰越正味財産額 ③－④+⑤		5,699,095

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　貸借対照表

特定非営利活動法人　手話教師センター

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】資産の部		
1　流動資産		
現金預金	13,421,495	13,421,495
未収金		
流動資産合計　・・・①		13,421,495
2　固定資産		
（1）有形固定資産		
（2）無形固定資産		
（3）投資その他の資産		
固定資産合計　・・・②		
【A】資産合計　①＋②		13,421,495
【B－1】負債の部		
1　流動負債		
未払金		
預り金		7,722,400
流動負債合計　・・・③		7,722,400
2　固定負債		
固定負債合計　・・・④		
負債合計　③＋④		7,722,400
【B－2】正味財産の部		
前期繰越正味財産額		4,976,830
当期正味財産増減額		722,265
正味財産合計		5,699,095
【B】負債及び正味財産合計　【B－1】＋【B－2】		13,421,495

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　財産目録

特定非営利活動法人手話教師センター

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1　流動資産			
現金預金		13,421,495	13,421,495
手元現金	12,511		
住信SBIネット銀行　法人第一支店　普通口座	12,960,215		
ペイパル（PayPal）	448,769		
未収金			
棚卸資産			
流動資産合計　・・・①			13,421,495
2　固定資産			
（１）有形固定資産			0
車両運搬具			
什器備品			
（２）無形固定資産			0
ソフトウェア			
借地権			
（３）投資その他の資産			0
敷金			
長期貸付金			
固定資産合計　・・・②			0
【A】資産合計　①+②			13,421,495
【B－１】負債の部			
1　流動負債			
未払金			
預り金			7,722,400
令和４年度分の会費（賛助会員）	138,000		
令和４年度分の会費（法人会員）	3,000		
令和２年度日本財団助成返金（予定）	3,868,000		
令和３年度日本財団助成返金（予定）	3,240,000		
令和４年度手話教授法講座受講料等	473,400		
流動負債合計　・・・③			7,722,400
2　固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計　・・・④			0
【B－１】負債合計　③+④			7,722,400
【B－２】正味財産合計　【A】－【B－１】			5,699,095

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　手話教師センター

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事	ｱｶﾎﾘﾋﾄﾐ 赤堀仁美		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
2	理事	ｻｸﾗｲｶｽﾞｺ 櫻井和子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
3	理事	ｵﾉﾃﾞﾗﾄｼｵ 小野寺敏雄		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
4	理事	ｺﾊﾞﾔｼｷｮｳｺ 小林京子		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
5	理事	ｻﾉﾘｭｳﾀﾛｳ 佐野立太郎		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
6	理事	ﾃﾗｻﾜﾋﾃﾞﾔ 寺澤英弥		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
7	理事	ﾏｴｶﾞﾜｶｽﾞﾐ 前川和美		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
8	監事	ﾖﾅｲﾔﾏｱｷｴ 米内山昭枝		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
9					
10					

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　手話教師センター

	氏　　名	[redacted]
1	川　島　　清	
2	赤　堀　仁　美	
3	數　見　陽　子	
4	下　城　史　江	
5	櫻　井　和　子 （海　野　和　子）	
6	米　内　山　昭枝	
7	寺　澤　英　弥	
8	越　後　節　子	
9	佐　野　立　太　郎	
10	小　野　寺　敏　雄	
11	福　光　あ　ず　さ	
12	河　合　祐　三　子	